

琉球大学学術リポジトリ

1960年1月の安保条約改定時の朝鮮半島有事の際の 戦闘作戦行動に関する「密約」に係る調査関連文書 No.4

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-15 キーワード (Ja): 朝鮮半島有事, ロジャース国務長官 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43880



(回覧番号) 2369 ① 外務省電信案 (分類)

特秘 (類秘) 秘・平文・短長符号 (朱印)	暗 略 平	総第 24174 号
	第 1057 号	昭和 年 月 日 時 分 第 43, 5-27, 2300
大至急 (至急) 普通 LTF	発電係	高橋

大 局 長	主管 局 (部) 長	主管局職名
政務次官	参事官	北米局北米課
事務次官	課 長	起案 昭和 43 年 5 月 27 日
外務審議官	課長補佐	起案者 佐藤 電話番号 44
官 房 長		

協議先
 条約局長
 参事官
 条約課長
 本保課長

在 米 下 田 大 使
 総 領 事 あ て 大 臣 発
 臨 時 代 理

電 報 在 大 使
 総 領 事 あ て 臨 時 代 理

件名 日米継続協議(沖縄)
 往復 米北米 746号 1回
 沖縄の地位に關する日米継続協議の才1回
 会谈は、5月27日、本大臣とジョンソン米大使
 との由り南館で4回と3 分の要旨の通り。
 (電報公信)

※印刷内は電報略記

号 沖總事務所未岡次長あて直撥

GB-1

27 111

字 齊

1. 沖縄の軍事的な重要性
 大使は、沖縄米軍基地の機能は、大略して
 (1) 中継基地 (2) 補給基地 (3) 通信基地
 (4) 米軍力の存在示威の4種に分類される。
 (1) の重要性は、あつた事柄に於て、
 戦略核兵器、戦術核兵器、通常兵器
 等の使用に於て、
 最も重要な役割を担っている。
 (2) の重要性は、
 約に於て、日本、朝鮮半島及び台湾に對する
 述べ、(4) 現在予見し得る限り、
 其の重要性は、
 大抵、
 同様に日本政府と(2)の若くは米軍との
 関係、
 核兵器の存在を指し、

GB-3

外務省

本大臣は、沖縄基地の重要性については、日本政府国民とも十分認識しているが、問題は施政権返還時における基地のあり方として、本問題についての日本政府としての立場は慎重検討中であり依然自付であるが、マスコミにあらわした限りでの世論は、本大臣の意見と一致して圧倒的に核抜き本土並みに国営であることを見受けられ、本大臣の私見としてはあるが、即ち^{合意}米側の足並みも或はこの辺り実際に揃ってゆくこともなく、^{米側}1972年7月にX-2B基地の撤去に米側声明に関連し、核基地撤去の可能性を留した。(注:一部報道機関の場合も政府の考えも本土並みの如き報道を各々見られるに留意の旨。) 以下に示す。先方~~は~~は、

(1) 沖縄地には核兵器をなくするは、

上記の如くの中手段を備えた沖縄基地の

抑止力を部分的に削減することになり、
 については、米側にはそのための行動の自由を与えることとする。(2) 沖縄には、核と^両通常兵器用を併し³³ (dual capability) 兵器を~~あり~~ (核~~あり~~、
 実際はあるかどうかは云々~~あり~~) X-2B
 については、核用兵器ではない。(X-2B

